古石ひでさと4期目に向かっての議会活動　ひでさと

古石　後援会だより

URL：http://古石.com/

第　３５３４号
発行令和３年１月
古石　ひでさと後援会事務所
岩見沢市幌向南１条１丁目
TEL　２５－２２２５

市政についてご提案、ご意見などがありましたらお聞かせください。

E-mail-furuishi@gray-plala.or.jp

コロナ接種準備急ぐ自治体

接種準備急ぐ自治体

道内感染初確認１年

ワクチン供給 流動的

保管、医師ら確保に苦慮

新型コロナウイルスの初の感染者確認から28日で1年となる道内で、感染対策の切り札と期待されるワクチン接種に向けた準備が加速している。2月下旬にも国立病院機構北海道医療センター（札幌）など7施設の医療従事者の接種が始まり、4月から重症化しやすい65歳以上の高齢者を皮切りに対象者が拡大されていく見通しだ。ただ、国のワクチンの供給スケジュールはなお流動的で、道内市町村は接種会場や接種を担当する医師らの確保などに苦慮している。（1面参照）

フォーカス FOCUS

厚生労働省は2月15日、米製薬大手ファイザー製の新型コロナワクチンを承認する見通し。まず同意を得た医療従事者約1万人に接種して安全性を確認する。道内第1陣となる道医療センターは今月26日から全職員を対象に接種の意向調査を始めており、菊地誠志院長は「特効薬がない中、ワクチンは新型コロナに対抗する唯一の望み」と期待する。

国は3月中旬には新型コロナの診療や患者搬送に関わる医師や看護師、救急隊員、保健所職員ら約370万人が接種できるようにする。4月以降、65歳以上の高齢者や糖尿病など基礎疾患のある人へと段階的に対象を拡大していく方針だ。

国は接種の状況をリアルタイムで把握できる新たなシステムを導入し、接種人数や各地域へのワクチン分配量を一元的に管理する。

ファイザー製のワクチンは零下75度の超低温での保管が必要なため、国は道内に479台の専用冷凍庫を配備する。各自治体に最低1台は設置し、残りは人口に応じて配分する。札幌市には100台超が配備される方向だ。

厚労省が自治体向けに作成した資料では、ワクチン接種会場には1カ所につき、医師と看護師、受付けなどを行う事務職員の計15人が必要だ。この体制で7時間実施すれば、1日280人のワクチン接種が可能になる計算だ。

ただ、住民のワクチン接種の実務を担う市町村には戸惑いが広がる。冷凍庫の設置場所の調整に加え、住民への接種券（クーポン券）の発行などの業務も必要になるが、札幌市の担当者は「いつ、何人分のワクチンが届くのかなどの国の情報がほとんどない。頭の中で想像して体制を整備するしかない」と漏らす。

医療従事者が少ない過疎地が多い道内では、接種に要する人員の確保も課題だ。後志管内神恵内村には村立診療所に医師が1人しかいない。同村は通常の診療を続けつつ、1日20人程度のワクチン接種を実施する考えだが、「診療所の負担が大きいため、近隣自治体の病院でも村民が接種できないか調整している」（担当者）という。根室管内羅臼町も町内唯一の診療所には常勤医は1人だけ。町保健福祉課は「診療所に新道医が来る日に接種を行うなどして対応したい」としている。

新型コロナの感染状況次第では、ワクチンを保管することを余儀なくされ、政府の観光支援策「Ｇｏ Ｔｏ トラベル」も昨年11月下旬、道内で先行して利用中止となるなど、経済的な影響も他の都府県よりも長期化した。

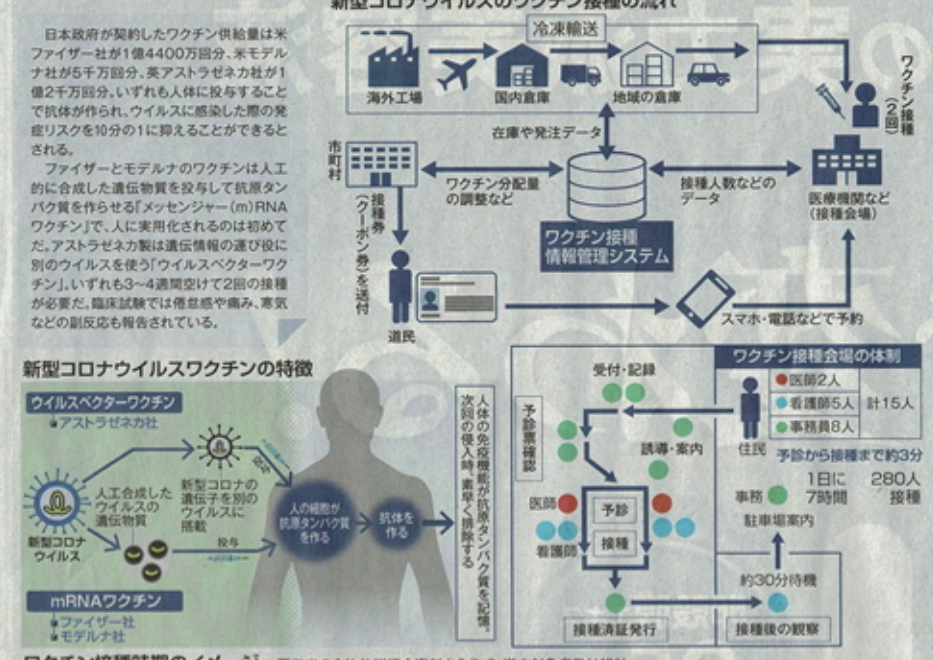
道内で感染が先行した理由について、札幌保健医療大の小林清一教授（臨床免疫学）は「気温が低くてウイルスの生存率が長期化しやすく、寒冷地向けの高気密の建物も感染拡大につながった」と指摘。新入学や転勤で人の動きが活発化する3月末から4月上旬にかけて感染が再び拡大する恐れもあり、道も専門家の意見も踏まえ、感染動向を注視している。（高橋淳恵）

◇おことわり　発信「そらぷちキャンプの夢」は休みました。

新型コロナウイルスのワクチン接種の流れ

日本政府が契約したワクチン供給量は米ファイザー社が1億4400万回分、米モデルナ社が5千万回分、英アストラゼネカ社が1億2千万回分。いずれも人体に投与することで抗体が作られ、ウイルスに感染した際の発症リスクを10分の1に抑えることができるとされる。

ファイザーとモデルナのワクチンは人工的に合成した遺伝物質を投与して抗原タンパク質を作らせる「メッセンジャー（m）RNAワクチン」で、人に実用化されるのは初めてだ。アストラゼネカ製は遺伝情報の運び役に別のウイルスを使う「ウイルスベクターワクチン」。いずれも3～4週間空けて2回の接種が必要だ。臨床試験では倦怠感や痛み、寒気などの副反応も報告されている。



新型コロナウイルスワクチンの特徴

ワクチン接種会場の体制

ワクチン接種時期のイメージ　※厚労省の自治体説明会資料から作成。道内対象者数は推計

種別と対象者数	道内対象者	2月	3月	4月	5月	6月
医療従事者（先行接種）約1万～2万人	7医療機関で希望者募集中	2月下旬～				
医療従事者約370万人	約16万人		3月中旬～			
65歳以上の高齢者 約3600万人	約166万人			4月以降		
基礎疾患のある人 約820万人	約33万人					
高齢者施設などの職員 約200万人	約8万人			接種券郵送	ワクチン供給量に応じて順次接種	
60～64歳の人 約750万人	約34万人					
その他の人（当面は16歳以上）						

夜の銀座訪問 強まる批判

首相謝罪 政権打撃さらに

自民、公明両党の幹部が緊急事態宣言下の夜に銀座のクラブを訪れたことに関し、菅義偉首相は5日の参院予算委員会で「大変申し訳ない」と謝罪した。政府は国民に外出自粛を求めるも、感染の甘さが際立つ形となり、支持率に厳しく響く格好となった。野党は追及を強め、飲食店への厳しい協力金のための新型コロナウイルス特別措置法などに関する与党の対応にも影響している。（3面参照）

問題の幹部は、自民「か」と「かない」と漏らす。

自民党の松本純国対委員長代理と公明党の遠山清彦幹事長代理、立憲民主党の辻元清美元国対副委員長の3氏は先月26日、銀座のクラブを訪問した。政府は緊急事態宣言の発令で飲食店に対し、酒類の提供を午後7時までとするよう要請しており、3氏は午後10時ごろまで滞在したとされる。

菅氏は5日の参院予算委で、自民党に「国民の範を示すよう行動をすべきだ」と述べた。

松本氏は同日に、遠山氏は翌日に、辻元氏はそれぞれ記者団に対し「国民から厳しい目が向けられていることを重く受け止めている」などと陳謝した。

政治家の会食を巡っては首相や自民党のお歴々が幹事長や党所属の全国の議員にその徹底を通知していた。

菅氏は5日の参院予算委で、自民党に「徹底幹事長の下で党所属の全国の議員や事務の大人数会食が問題となった。松本、遠山両氏のクラブ訪問はいずれもその対象期間だった。国民の理解は得られるのか」と質したのに対し、菅氏は「国民の皆様に大変申し訳ない」と陳謝した。

菅氏は知人の子息の結婚式を祝うため、会食後に「もう一カ所行こう」とクラブに誘われたことに触れ、「自分が次に行く場所は知らなかった」と釈明。野党からは「おおむねなっていない」との声があがる。

与党内からも「言語道断。政治への信頼が揺らぎかねない」（自民の下村博文政調会長）、「子供の言い訳だ」（公明の石井啓一幹事長）と厳しい指摘が相次ぐ。

ファイザー製ワクチンの接種券（クーポン券）を発送する作業が遅れるなど、首相肝いりの政策にも影響が出ている。

だが、与党幹部からは「自分が次に行く場所は知らなかった」との釈明に「それで通るのか」との声も。

菅氏は5日の参院予算委で、「お答えいたしかねる」と繰り返した。

自民党の森山浩行国対副委員長は「国民の理解を得るのは難しい。国会審議にも影響が出る」と語った。（高橋淳恵、宮崎亮）

与党幹部の深夜の飲食店訪問

自民党・松本純国対委員長代理
※18日午後11時すぎまで東京・銀座のレストラン、クラブなど3軒を訪問（※週刊新潮ウェブサイトによる）
「国民に我慢を強いている環境の中、私の行動自体が少し軽かったと反省している。重望、陳情を承る立場で、1人で行った。直接会って話さないといけない内容だった」（26日、国会内で記者団に）

公明党・遠山清彦幹事長代理
※22日、会社社長と会食後、銀座の会員制クラブに午後11時すぎまで滞在（※週刊文春ウェブサイトによる）
「知人の仕事の相談があった。（食事をした後）『もう1軒行こう』と誘われた。自分が次に行く場所は知らなかった。切り上げて帰るべきだったと反省している」（同）

- 自分たちは守らないで、国民には守らないと罰則を科すなんて、めちゃくちゃだ。この2人の不適切な行動に対して、厳格な処分を下すべきだ（立憲民主党・辻元清美氏）
- この期に及んで行くが、国民に自粛を呼び掛けている中で与党幹部がこんなことでいいのか（共産党・穀田恵二国対委員長）

道、第4波・変異種警戒

道内は最初の感染者が出て以降のこの1年間、常に全国に先駆けて感染が拡大する厳しい状況に向き合ってきた。寒冷地特有の高気密の建物など、感染症に脆弱な道内の生活環境も影響しているとみられ、第4波や感染力が高い変異種への懸念がくすぶる中、道は一層の体制整備が急務となっている。

「他の地域に先行する形で感染の確認が始まったことを、影響も長期にわたった」。鈴木直道知事は昨日、関係省庁や自民党道連との意見交換会でこの1年を振り返り、全国でも真っ先に厳しい対応を迫られた北海道の状況に理解を求めた。

全国に先駆けて道内で感染が広がったのは、世界的大流行の震源地となった中国人観光客も大勢訪れたさっぽろ雪まつり（1月31日～2月11日）が一因とみられており、首都圏などより2カ月近く早い2月下旬に第1波のピークを迎えた。第2波のピークも道内は4～5月だったのに対し、全国は7～9月。第3波は全国より1カ月早い10月中旬ごろから感染が急増した。

この結果、道は全国に先駆けて、外出自粛や飲食店の営業時間短縮などを要請することを余儀なくされ、政府の観光支援策「Ｇｏ Ｔｏ トラベル」も昨年11月下旬、道内で先行して利用中止となるなど、経済的な影響も他の都府県よりも長期化した。

道内で感染が先行した理由について、札幌保健医療大の小林清一教授（臨床免疫学）は「気温が低くてウイルスの生存率が長期化しやすく、寒冷地向けの高気密の建物も感染拡大につながった」と指摘。新入学や転勤で人の動きが活発化する3月末から4月上旬にかけて感染が再び拡大する恐れもあり、道も専門家の意見も踏まえ、感染動向を注視している。（高橋淳恵）

◇おことわり　発信「そらぷちキャンプの夢」は休みました。

平均倍率は0・8倍

空知管内公立高校出願状況 二笠製菓は1.3倍

道教委は26日、本年度の公立高校入試出願状況を公表した。空知管内は、全日制で募集した、人員2240人に対し、出願者数は1730人。倍率は0・8倍で、最高（定員40人）の1・3倍となっている。

全日制で出願が定数を超えたのは、岩見沢西（定数120人、1・1倍）、岩見沢緑陵（同80人、1・2倍）、滝川理数科（同40人、1・1倍）、岩見沢農業科学科（同40人、1・2倍）、同森林科学科（同40人、1・2倍）、同生活科学科（同40人、1・1倍）、深川東生産科学科（同40人、1・1倍）、新十津川農業農業・生活科（同40人、1・1倍）、滝川工業電子機械科（同40人、1・1倍）、同電気科（同40人、1・1倍）、深川東総合ビジネス科（同40人、1・1倍）、奈井江商業情報処理科（同40人、1・1倍）、岩見沢緑陵情報コミュニケーション科（同80人、1・2倍）、滝川西情報マネジメント科（同120人、1・2倍）、三笠製菓科（同20人、1・3倍）、美唄聖華衛生看護科（同80人、1・2倍）、美唄尚栄総合（同80人、1・2倍）。

倍率は三笠製菓コースが1・3倍、岩見沢緑陵情報コミュニケーション科が1・2倍、滝川西情報マネジメント科が1・1倍、三笠製菓製菓科が1・3倍、美唄聖華衛生看護科が1・2倍。

空知管内公立高校出願状況（全日制）　★印は市立高校

学校名	学科名	募集人員（A）	出願者数合計（B）	倍率 B/A
岩見沢東	普通	200	196	1.0
岩見沢西	普通	120	129	1.1
月形	普通	40	11	0.3
夕張	普通	40	16	0.4
長沼	普通	80	54	0.7
栗山	普通	80	40	0.5
★岩見沢緑陵	普通	80	97	1.2
	スポーツ総合	40	21	0.5
滝川	普通	160	158	1.0
砂川	普通	120	53	0.4
芦別	普通	80	54	0.7
深川西	普通	120	66	0.6
★滝川西	普通	120	104	0.9
合計		1,280	999	0.8
滝川	理数	40	44	1.1
岩見沢農業	農業科学	40	46	1.2
	畜産科学	40	31	0.8
	食品科学	40	29	0.7
	農業土木工学	40	31	0.8
	環境造園	40	34	0.9
	森林科学	40	44	1.1
	生活科学	40	27	0.7
深川東	生産科学	40	17	0.4
新十津川農業	農業・生活	40	16	0.4
合計		360	275	0.8
滝川工業	電子機械	40	27	0.7
	電気	40	14	0.4
合計		80	41	0.5
深川東	総合ビジネス	40	10	0.3
奈井江商業	情報処理	40	19	0.5
★岩見沢緑陵	情報コミュニケーション	80	62	0.8
★滝川西	情報マネジメント	120	122	1.0
合計		280	213	0.8
★三笠	調理師	20	18	0.9
	製菓	20	26	1.3
美唄聖華	衛生看護	80	65	0.8
職業科合計		840	638	0.8
美唄尚栄	総合	80	49	0.6
全日制合計		2,240	1,730	0.8

感染全道に 延べ1万7010人

585人死亡 医療逼迫続く

道内初確認１年

道内総生産1兆円減

民間試算 宿泊・飲食2000億円打撃

世界の感染1億人突破

ワクチン接種なお0.8％